

難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求める請願

長崎市議会議員 深堀義昭 殿

請願人

長崎市浜口町 2-14
あこやビル 3 階
全日本年金者組合長崎支部
支部長 神崎俊寛



紹介議員
長崎市議会議員
氏名

中西敦信



請願の趣旨

難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難とするなど生活の質を落とす大きな原因になるばかりか、最近では認知症やうつ病の発症要因にもなると専門家が指摘しています。こうした中で聞こえの悪さを補完し音や言葉を聞き取りやすくするのが補聴器です。

わが国の難聴者率は欧米と比較して大差は無いといわれていますが、補聴器の使用率は欧米諸国と比べるときわめて低く、日本補聴器工業会の調査でもイギリスの 47.6% に対してわが国は 14.4% と極端に低い数値となっています。この背景には補聴器の価格が片耳あたりおおむね 15～30 万円で保険適用がないため、全額自己負担となっていることがあります。身体障害者である高度・重症難聴の場合は補装具支給制度により負担が軽減され、中等度以下の場合は購入後に医療費控除をうけられるものの、その対象者はわずかで約 9 割の人は自費で購入しています。

すでに、全国では 100 を超える自治体で国の公的補助がない中で、自治体独自の財政的補助事業を実施しています。県内でも既に五島市では、市内の 65 歳以上の難聴者に対して購入費の 9 割以内の額、上限 37,000 円を助成しています。

心身共に健やかにすごすことができ、認知症の予防、健康寿命の延長、医療費の抑制にもつながるようにしていくことが大切だと思います。

以上の趣旨から、次のことを請願します。

請願事項

1. 難聴者の補聴器購入に係わる長崎市独自の補助・支援事業を実施してください。
2. 「難聴者の補聴器購入に公的補助制度を創設する」よう、国に対する意見書を提出してください